



■「つなぐ」教育を意識して

桂川幼稚園 園長 城石俊弘

3学期は1年間のまとめと進級や卒園・入学に向けた準備の期間でもあります。年長児にとっては、小学校生活が目の前に迫っています。そこで大切になってくるのが、小学校の子どもたちに慣れの気持ちをもったり、小学校生活に期待を寄せたりするような機会を設けることです。

本園では、桂川東小学校の1年生児童とさつま芋の栽培活動をしたり、桂川小学校1年生の生活科「秋の宝物ランド」に招待してもらったりしました。桂川小学校での4回の給食体験も、5年生の教室で行い、交流を進めることができました。他にも、運動会の練習や体育の授業も見学しました。また、小学校の先生に鉛筆の持ち方や運筆の指導をしてもらい、その後の園での指導に生かしています。

園内では、整理・整頓の仕方、箸の持ち方、食べ方、あいさつや返事、話の聞き方の指導に力を入れるとともに、ワークを活用して知識を広げたり、数の概念を培ったりする指導を行うなど、小学校生活のスムーズなスタートを目指した活動の

充実を図っています。小学生との交流に加えて、とれたて村や桂川東アンビシャス広場の方など地域の方々の交流活動も園児にとって楽しみな、そして意義深い時間となっています。

また、「音楽発表会」、「生活発表会」などの園行事も、つなぐ視点でプログラムを工夫し、多くの保護者や地域の方に子どもたちの姿を見てもらい、拍手と声援をいただきました。このことは、子どもたちの励みになり、友達と協力しながら、主体的に様々な活動に取り組み、最後までやり遂げようとする態度を育むことにもつながっています。

本年度、「元気で友だちと協力して遊べる子どもの育成」を教育目標として、教育実践を積み重ねました。1年を振り返って、子どもの成長、教育目標の達成のためには、学校や地域、保護者など多くの方と連携・協力し、たくさんの支援をいただくことが大切であることを改めて強く感じています。今後、多くの方と連携して開かれた園づくりを進め、本園教育の充実をめざしたいと考えています。

■1年間を振り返って

桂川中学校 校長 安藤能之

早いもので今年度もあとわずか。「気づき」「考え」「進んで実行する」を掲げた桂川中学校での今年度の教育活動も無事に終えることができました。ここで、これまであまり紹介の機会がなかった今年度の取組のいくつかを紹介いたします。

○フィリピンのMCU（マニラ・セントラル・ユニバーシティ）との交流に合意

本校ALITのジュリー先生の尽力もあって、MCUの生徒たちとのオンライン交流授業が始まりました。今も多くの生徒たちが毎回の出会いを楽しみにして英語や文化を学んでいます。

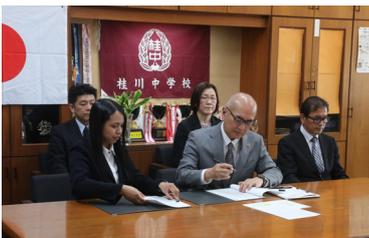
○今しかできない経験

今年も九州・全国大会へ出場する生徒が、柔道部や陸上部から出ました。また、県大会に出場する者も数多く、学校も活気にあふれました。もちろん、勝ち進めなくとも、全員が桂川中の生徒として全力を尽くすという、大変価値ある姿を見せてくれました。

○福岡県教育委員会からの委託事業「授業発表会」

本校は、県から
・人権教育の深化
・情報活用能力の向上
のテーマについて研究、授業、報告の委託を受けました。そこで、3年生と1年生の学級がそれぞれについて授業を行い、県、筑豊管内の学校から来校者を交えて研修会も実施しました。参加者からは本校の実践に高い評価もいただき、成果をまとめることができました。

言うまでもなく、これら1年間の歩みの中には、地域の皆様からたくさんのご協力があったことは事実です。本当にありがとうございます。1年間の学校教育へのご協力に、心より感謝申し上げます。今後ともよろしく願っています。



▲フィリピンMCUとの姉妹校締結調印式の様子